

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時 令和元年5月24日(金)
18:00~18:30

まちづくり協議会区域名 大湊町未来づくり委員会

会場 大湊町民会館 2階会議室

参加者数 40人



《質問・意見》

伊能忠敬が富士山の観測を行っていたが、その最西端が大湊町の東側の突堤あたりであるため、その証として碑を建ててもらいたい。

東側の堤防の防潮扉がいつも開けっ放しになっているため、住民にも回覧で閉めるよう注意喚起をしたがあまり効果がなかった。今後、堤防を新設する際には西側の堤防と同じように扉をなくしてもらいたい。

避難タワーを普段から利用できるようにしてもらいたい。

《回答》【市長】

伊能忠敬の話については、また具体的な資料をお願いしたい。

防潮扉の開閉は他地区でも地元でお願いしているため、地域の方で管理をお願いしたい。堤防改修については県の所管であるが、扉の有無については地域での総意を確認願いたい。

避難タワーについては、地域と相談し柔軟に対応したい。

《質問・意見》

統合校までの道路に危険箇所が多いため児童の通学が心配である。スクールバスの運行を前向きに検討願いたい。

また、湊橋のある県道は道幅が狭く危険である。中高生の通学や地域の方も利用するため、安全に通れるように整備してもらいたい。

《回答》【市長】

スクールバスと道路の安全については検討していきたい。ただし、スクールバスについては2km以上のルールがあるため、それをどう考えるか相談したい。

《質問・意見》

伊勢は観光地の割には現金でないと支払えない店が多い。最近の若者や外国人観光客の利便性を図るためキャッシュレスへの対応が必要ではないか。

《回答》【市長】

前回の遷宮に合わせてキャッシュカード対応にかかる補助金を創設したが、あまり補助金を利用してもらえなかったが、昨年度商工会議所の主導により約200店舗がキャッシュレスに対応された。

《質問・意見》

緑苑の中にはバス停がないため、高齢者は20分ぐらいかけて徳田のバス停まで歩いている。朝・昼・晩の3便だけでもいいので緑苑からの交通手段を何とかしてもらいたい。

《回答》【市長】

公共交通の空白地帯は全国的な問題である。市では放射状に伸びているバス路線の利便性を向上するため循環バスを始めた。沼木地区では地域住民で自主運行バスを走らせている。バス停までの交通手段は今年1年かけて検討しているため、まち協とも一緒に考えたい。

《質問・意見》

大湊町は産業がなくなってきたこともあって高齢者ばかりになって人口が減少し、閉塞感が漂っている。市長は大湊がどうなっていけばよいと思うか。

《回答》【市長】

東日本大震災以降沿岸部はどこも同じような状況である。これから地域の魅力を活用して活性化しなければいけないが、行政主導ではいけない。まち協主導で検討していただき、地域と共に議論していきたい。小学校の跡地についても提案をもらって議論していきたい。

《質問・意見》

大湊川を埋め立てて大湊を陸続きにしてもらいたい。大湊川の埋め立てについてはこれまで国にも要望してきたが、出水時に度会橋付近で1cm水位が上がることから受け入れられなかった。大湊川を埋め立てて高台にし、避難場所としてもらいたい。

《回答》【市長】

町の総意として要望いただければ国・県へ掛け合いたい。

《質問・意見》

ゴミ集積所のフタの開閉が高齢者には困難で、ケガをした人もいる。高齢者にも開閉が容易なものへ交換してもらおうよう環境課へ言ったが難しいと言われた。補助金での対応はできないか。

《回答》【市長】

市全体での対応が必要であるため確認して検討したい。